

主体的に考え、動き出す児童

(1) 意欲的に学習に取り組む児童

(2) 基礎・基本の学習内容を身につけた児童

(3) 根拠を明確にして、筋道立てて考えや思いを表現できる児童

児童が「わかった、できた」  
を実感できるようにする

児童が「楽しい、もっとやり  
たい」を実感できるようにする

# わくたま授業づくり

- 1 振り返りをする
- 2 課題をつかむ（既習を活かす）

## 3 考える

算数<理解型>	算数<思考型>	国語<思考型>
(1) 全体で考える(1問目) 考え方の理解	(1) 自力で考える	(1) 自力で考える
(2) 考え方の説明※ ペアやグループで 考え方の確実な理解	(2) 考えの発表 全体で考え方の説明 思考を広める・深める 解き方の確認・理解	(2) 考えの発表 全体で考えの紹介 思考を広める・深める
(3) 自力で解く(2問目) 考え方をもとに	(3) 解き方の説明 ペアやグループで 確実な理解	(3) 考えの紹介※※ ペアやグループで 思考を広める・深める
(4) 解き方の説明※ ペアやグループで 確実な理解		

- 4 まとめる（自分の言葉で）
- 5 適用題
- 6 本時を振り返る（勉強はかせ）

※算数<理解型>の(2)と(4)の説明は、どちらか一方の場合もある。  
※※国語では、(3)の考えの紹介が入らない場合もある。

# わ かいやすい く っ きり 授 業

学びの指針3

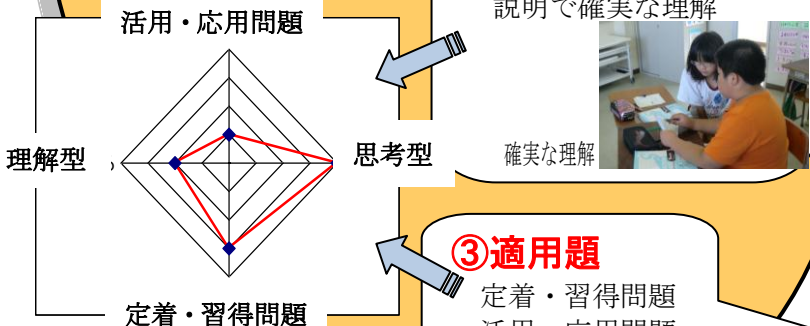
① 課題の焦点化

② 授業の組み立て

理解型か思考型か  
説明で確実な理解

③ 適用題

定着・習得問題  
活用・応用問題



# たのしく やる気が ます 授 業

児童が主体の

学びの指針1.5

④ 表現の場の設定

「考える」の中に説明や紹介

方法 根拠をもとに  
順序立てて  
相手意識  
形態 全体で  
ペアやグループで



⑤ わくたま博士の利用

問題解決の  
見通しのために  
思考を深めるために  
わくたま博士登場



# 学力・学習の基盤づくり

## 話す・聴く力の育成

- ★系統立てた指導  
掲示物（「発表名人」・「聴く」）で共通理解
- ★児童集会  
郡読・委員会の発表



群読発表

## 基礎・基本の定着

- ★帯タイムの利用
- ★和倉検定（漢字・算数・ローマ字）
- ★習熟度別授業
- ★単元テストで繰り返し指導
- ★学年ミニ検定
- ★個別支援
- ★読書の推進



ミニ検定

## 活用力アップ

- ★補充学習  
文章読解練習、実生活に即した問題、算数教科書「学びをいかそう」、書く活動

## 学びの土台づくり

- ★心の育成  
・生徒指導の三つの視点で  
・人間関係づくり



人間関係づくり授業

- ★学びの構え10項目  
・準備と後始末 ・持ち物 ・ベル学 ・授業はじめと終わりのあいさつ  
・学習静止 ・「はい」の返事 ・座り方 ・挙手の仕方 ・話す ・聴く

- ★生活・学習習慣づくり  
・早寝・早起き・朝ごはん
- ★家庭学習の徹底  
・宿題忘れ0 ・放課後学習スクール



宿題忘れ0賞状